



ひょうごの農林水産技術

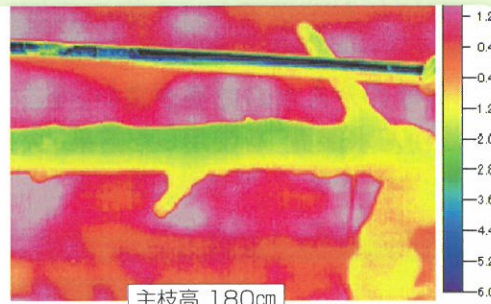
農業編

NO.171 2010 (平成22年) .11

特集 ひょうごの農産物ブランド戦略を支える技術開発
(園芸分野の最新開発技術)



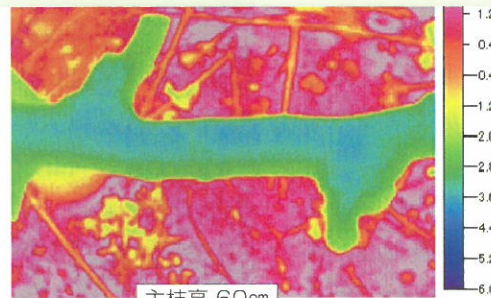
クリ園のソーラー点滴かん水装置



主枝高 180cm



タマネギの新品種「もみじの輝」



主枝高 60cm

イチジクの主枝背面温度 (朝5時頃)



イチゴの株を冷やし、花芽分化の遅れを防ぐための送風装置

目次

特集 ひょうごの農産物ブランド戦略を支える技術開発

- 1 ひょうごの農産物ブランド化に向けた技術開発をめざす…………… 2
- 2 ソーラー点滴かん水装置でクリ大果の収量アップ…………… 2
- 3 イチゴ高設栽培装置を改良、気化熱を利用して培地を冷却…………… 3
- 4 タマネギ新品种「もみじの輝」の安定生産には播種時期が重要…………… 4
- 5 イチジク樹の主枝高を高くして凍害を軽減…………… 5

- 2 飛ばないナミテントウによるアブラムシ防除
～新たな生物農薬の開発～…………… 7
- 3 稲わらたい肥の連年施用によりカリ肥料は削減可能…………… 8
- 4 ピワ新品种「陽玉」と「なつたより」は大玉で食味良好…………… 9
- 5 LED照明で採卵鶏経営の大幅な経費削減…………… 10
- 6 「丹波黒」にみられた裂皮は、子葉奇形との関係が強い…………… 11

研究成果の紹介

- 1 フキの組織培養で優良系統を選抜…………… 6

現地情報

- アイガモ・但馬牛の時間差立体放牧で飼料費を削減…………… 12